

## 1996年4月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、北極、プロッキング高気圧が現れたグリーンランドやスカンジナビア半島は正偏差域に覆われた。太平洋中緯度帯で負偏差域が広がり、北米大陸北部、北大西洋中部、地中海東部沿岸でも負偏差となった。帯状平均した亜熱帯ジェットは、平年よりやや北に位置し、平年よりも強かった。熱帯の対流活動は、インド洋東部から大西洋西部とITCZで平年より活発である一方、太平洋中部から東部の赤道付近は平年より不活発だった。200 hPa での大規模な発散中心はニューギニア島北部の赤道付近で平年より西に20°、北に10°偏っていた。

### 世界の異常天候

#### ① 日本から中国南東部の低温

#### ② 中国西部及び中央アジア、中東の多雨

中国西部及び中央アジア、中東で低温傾向、多雨となり、カザフスタン東部アルマトゥイで月降水量 164

mm (平年比165%) となった。

#### ③ ヨーロッパ西部の少雨

イギリスを除いて引き続き少雨となった。ロシア西部、ドイツ、オランダで月降水量が 20 mm 未満の所が多かった。

#### ④ アメリカ合衆国東部の多雨

アメリカ合衆国東部では引き続き多雨となり、また、中西部では低温となった。

#### ⑤ カナダ南西部の多雨

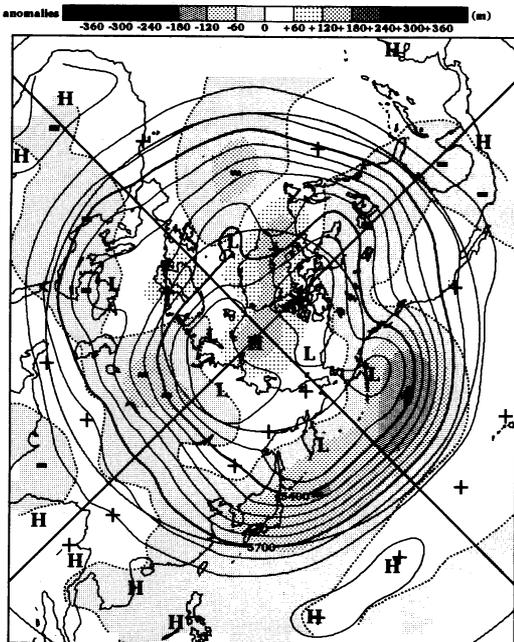
#### ⑥ アメリカ合衆国西部・南部の少雨

アメリカ合衆国西部・南部やアラスカ南西部で少雨となり、月降水量が 10 mm 未満で平年の20%未満の所があった。

#### ⑦ ハワイからオーストラリア北東部の高温

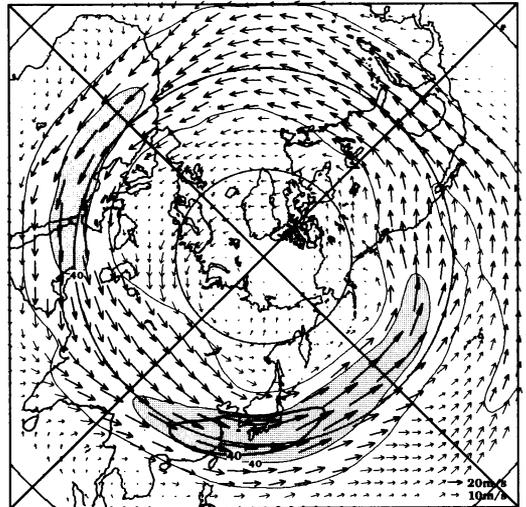
ハワイからオーストラリア北東部にかけて異常高温となった所が多く、ハワイのホノルルで月平均気温 26.6°C (平年差+2.3°C) となった。

(気象庁予報部長期予報課 徳広 貴之)



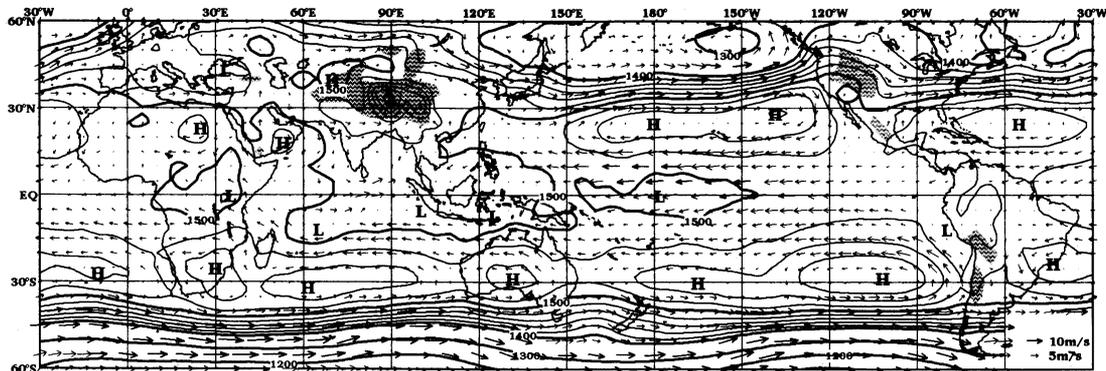
1996年4月の北半球月平均 500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔, 偏差パターン間隔は 60 m, 平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。

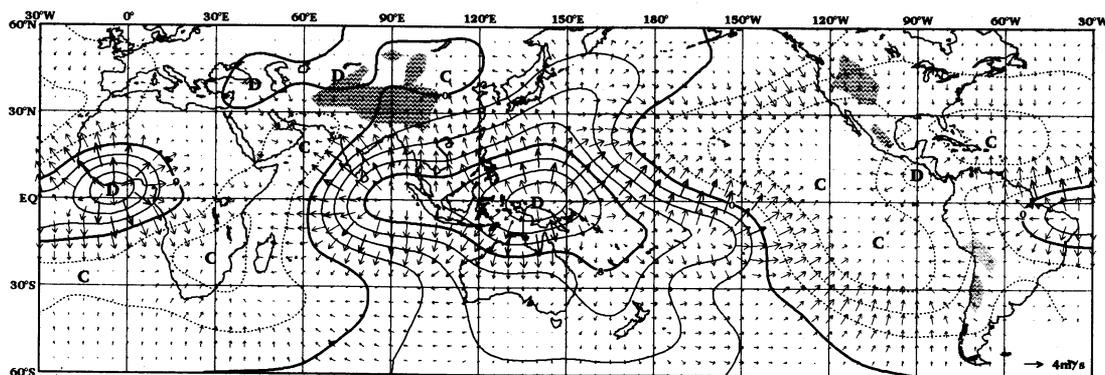


1996年4月の北半球月平均 200 hPa 風速および風ベクトル

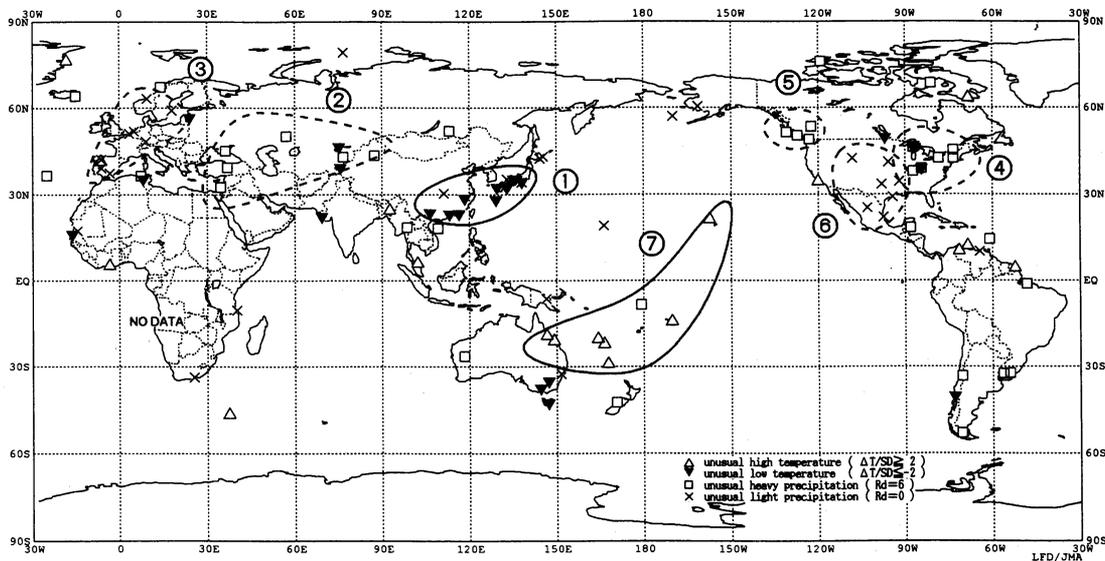
陰影部は平年で 40 m/s 以上, 等値線間隔は 20 m/s, 平年値は1979~1990年のデータに基づくもの。



1996年4月の月平均 850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



1996年4月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1996年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6または0  
 図中の番号は本文中の番号と対応している.